



NPO法人 天使のほほえみ

発行所 NPO法人 天使のほほえみ
理事長 鎌田ヒサ子
〒151-0071 東京都渋谷区本町
2-27-15-202 鎌田ヒサ子方
年会費 個人 一口 千円以上
法人 一口五千円以上
郵便振替口座 00100-6-316987
特定非営利活動法人 天使のほほえみ

会 報

初秋号 No.5
発行日 平成19年8月25日

ホームページ: <http://angelsmile.yu-yake.com/> ブログ: <http://angelsmile06.blog.shinobi.jp/>

◎胎児と子供は国の宝です！

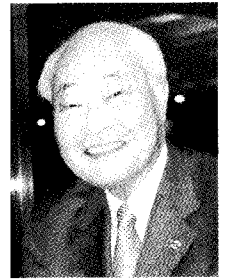
《インタビュー》

育児は孫まで

——いまこそ、伝統的日本の子育てを(下)

田下昌明

(小児科医・北海道旭川市、医療法人歓生会豊岡中央病院理事長、院長)



私たちはこれまで欧米の文明を取り入れること
につとめてきました。育児や教育についてもそう
でした。しかし、このままでいいのでしょうか。
今日の青少年の犯罪の根は、日本の歴史伝統文化
を否定した教育に原因があるとも考えられるので
す。前回に引き続き、小児科医の立場から田下昌
明先生に、いま最も注目を集めている日本の伝統
に根ざした日本式育児法についてお聞きしまし
ります。

◆われわれは何か しなければならぬ

この地球上にはいろい
ろな民族がいて、そ
れぞれの文化を持っていま
す。ドイツにはドイツの。
インドには、インドの。日
本には日本の文化がありま
す。固有の文化があり、固有
の育児方法があるのです。
文化はその国の人しか作
りません。「一、子供は誰
のものか、二、何のために
子供を育てるのか、三、ど

んな大人になってほしいの
か」という、先の三つの問
いについて考えてみましょう。
一、に対する答えは、
「誰の」とは日本の社会のと
いうことになります。二の
答えは日本の文化を継承す
るために。
三つ目は、私たちの赤
ちゃんは、美しい日本語を
つかえる大人にならなくて
はなりません。そのために、
両親はきちんと挨拶を交わ
し汚いことばを使わないよ
うに注意しなければなりま

◎大事に生んで育てましょう！

呱呱の声

「妊娠中や授乳期の飲酒
は、胎児・乳児の発育に影
響するおそれがありますの
で気をつけましょう」△こ
れはいつごろからかアル
コール飲料のラベルに書か
れるようになった警告であ
る。ともあれ胎児の健康に
留意する風潮が生まれたこ
とは喜ばしい△そこでもう
一步、直接胎児の生命を守
る言葉を社会のどこかに貼
り付けられないだろうか。
例えば「胎児も子供も国の
宝です。大事に生んで育て
ましょう」これは当法人が
日本文化チャンネル桜に出
しているCMである△「ご
安産おめでとう」という祝
電を、会社の同僚の結婚式
に打ったことがある。その
後彼女は双子を出産したと
のこと。言葉には「生命」
が宿っている。それを明る
く表して行きたい。

せん。童謡や唱歌、わらべ歌を一緒に歌う。昔話を聞かせる。昔話は、たとえば「かちかち山」など、動物に置き換えて人間には残酷な面もあることを教えています。そしてそれを抑えていくことを教えなければならぬ。三歳をすぎたら伝記も読みましょう。

赤ちゃんは成長につれてこんどは、自分で「一、誰のようにになりたいか」「二、何に人生をかけたか」の二つの指標をたてなければなりません。そのときに、子どもが尊敬する人物が心のなかにいなければなりません。

一方で現実には、子育てをしないようにしないように、政府に働きかける勢力がある。

若者は、生命の意味をわからずにいる。人間と動物の全く違った点は、動物は性行為の結果を知らないで、子が生まれてくること

です。大きな違いです。性行為の目的を知らない。いまの若者と似ていませんか？生殖とつながっていることが分かっていない。

教育そのものが、日本の文化の破壊、処女性を打ち壊す方向へ向いています。

われわれは何かしなければならぬ。気がついて何もしないのはよくない。

母親というものは、子供のためなら何でもします。ところが、いま、母親は自分のためなら何でもするが、子供のために何をすべきかわかっていない。五十年、六十年かかってこころで来た。これを取り返すのに五十年かかる。それまで日本は存在するか？

◆日本の歴史に

誇りを持つとう

れから父親母親になる人は、日本の歴史に誇りを持たなければなら

ない。やはり歴史は『古事記』からはじめるべきです。歴史を否定したら、未来はありません。未来はいらないとはつきり言っているのは、ジェンダーフリーの考え方です。男女の性差を認めないということは、男女の別がないということでは、次世代はいらないということですよ。

われわれはアメーバーのように増えるわけではありません。

男の胎児は、六、七週で勃起します。それが、男女の別の明白な事実ではありませんか。

医学技術の進歩によって、胎児を水槽のなかの熱帯魚のように観察できるようになりました。胎児の発達、行動、心理などが研究され、「出生前心理学」が学問として認められています。いかに胎教が大切かというこの基盤になっています。

また、「数え年」の考え方にも根拠を与えています。

妊娠二カ月から五カ月の間に母と子の絆ができ、出産のときは、すでにそれぞれらしくない堅い絆をもって生まれてきます。出てきたときから、取り上げる間、注意深くやさしく取り扱われなければなりません。母乳を含ませるまでの生後一時間以内が非常に大切です。

フランスの医師、フレデリック・ルボワイエは、本来の理想的出産を提唱しています。

薄明かりのなかで分娩し、赤ちゃんを母親のお腹の上に乗せます。分娩直後にへその緒を切るのは残酷なことですよ。赤ちゃんの呼吸が深くなるのを待ちます。赤ちゃんを手でなで愛します。赤ちゃんはこうした接触のなかにこれまで続いているのです。しかし、まだまだ管理分娩が主流です。母性の尊厳

がないがしろにされている。出生後の母子の絆（アタッチメント）が非常に大事だと誰でも知っています。しかし、実際には母子の絆は胎内から始まっていた絆の続きなのです。

最初の二カ月は三時間おきに泣かれます。母は寝ている暇もなく献身的な哺乳を続けることによって、母と子の一体感ができあがっていくのです。この母と子の一体感は子どもの将来に大きな影響をあたえるので

ここで気をつけなければならぬのは、母と子の一体感は、密着密室育児で発生する心理とは違います。周りがないとむしろ一体感が持てない。若い人は苦しい子育てを強いられています。たとえば高層マンションの一室での育児は、つとめて人のなかに入るようになければなりません。

◆お父さんお母さんは最後の砦

子

供は、精神的にも肉体的にもぐんぐんと発達を続けますが、三歳までには常に母親を必要とします。特に三歳までの育児をドラマに例えると、その主役は母親で、父親は舞台の床だということができるとでしょう。

三歳を過ぎた子供と母親の関係はちょうど航空母艦と艦戦機にそっくりです。子供は幼稚園に行ったり、遊びに行ったりして母のところから飛びたち、帰って

きます。ここで大事なことは、今日あったことを全部聞いてやることです。子どもは話したいのです。更に大切なのは、子供が外出するときと帰宅したときは必ずしっかりと抱きしめてやることです。

私の過去の育児指導の経験では、これをした親子としなかった親子では、後になって大きな違いがでてくる。数字で示すことはできませんが、抱っこをした子は、なべて、人の心の痛みがわかるやさしい子になっています。抱っこには、もう一ついいことがあります。熱があるとか、

息遣いが荒いとか、しょんぼりしているとか、身体的なことから精神的なことまで母親には手に取るようにわかります。

いま「いじめ」というのは日本全体が解決できない状態になっています。弱いものいじめではなくて「いじめ」だけが一人歩きしている。強いものが弱いものをいじめれば弱い者いじめです。世の中、強い者と弱い者の区別がなくなってしまうた。

もとを正せば信じるとか、愛するとかが出来ていない。どうして、お父さんお母さんに打ち明けられない

いのか。アタッチメントをしつかりすることです。お父さんお母さんは最後の砦と思ってください。それがないから自殺する。

◆生命のつながりには意味がある

私

は仕事柄、さまざまなたまに不妊の事例に接してきました。そこからやはり、子は授かりものだということを痛感します。では、子供は誰から授かるのか。私たちのDNAには生命のバトンタッチシステムが刻印されているのです。

生命のつながりには四つの意味があります。「個の生命」「私たち個人の生命です。ね。その人の属する「家系の生命」、共通の言語や習慣の特徴をもつ民族としての「民族の生命」さらに人類の「種の生命」ということになりま。子どもを授かったということは、生

命のつながりを未来に向かって延ばせと祖先から命令されていることです。赤ちゃんを大切にすると運動は、大賛成です。子どもはその一生のうちに必ず誰かを幸せにする使命をおびて生まれてきます。

私は幾度となく経験してきていることですが、先天性の病気や不治の病を得た子どもたちも、例外なく自分の使命の内容を示していきました。

子供を病院で産む、年寄りには病院で死ぬ。これでは生命の尊厳が感じられない。老人は老人ホームに行ってはだめです。子どもは世話にならなくても、最後の心配はないという人でも「お父さんお母さん」が年をとって働けなくなったら頼むよ。お前たちの世話になって死にたい、老人ホームなんか行きたくないよ」ということです。子育ては孫まで。かつ孫の目

主張

親を選んで生まれる

輪廻転生とか生まれ変わりと
言われる。万物の霊長といつても、限られた一生では、万般（文系・理系・政・財・芸能・体育）のコースを十分にマスターすることは難しい。家庭環境・才能・時の流れ・運不運もある。そこで赤ちゃんの魂は受胎にあ

たり、今回（生）のコースを果たすのに最適の両親のもとに生まれるため、天上界からも観察を選んで天降る。肉体的系譜と霊統の両立であり、宮詣り、願掛け、神聖受胎となる。池川医博の検証・は重みがある。中絶はコースの破壊である。
（『遊糧』他）

の前で死ぬこと。ここまでが子育ての責任です。

私自身はと、問われれば——私は殉死ということばが好き。小児科医として延べでおよそ五十万人の子どもたちを診てきました。子供の胸に聴診器をあてている時に、ポクツといきたいですね。



相談窓口

- **小さないのちを守る会** 03-3233-4988
養育不可能な赤ちゃんの養子縁組の相談
- **円プリオ基金センター** 03-5211-8778
妊娠SOSほっとライン 0120-70-8852
9月16日(日)~22日(土)聖母病院円プリオ基金センター

天使の書架



天使のほほえみ・
取り扱い 400円

『日本人がいなくなる』

三好誠著

——『日本人がいなくなる』の御恵送、拝受いたしました。尊徳翁は「物事の真実を知るには、現象だけでなく、すべてを観る、つまり遠くをはかることをしなければならぬ」と申しますが、三好先生もこの書をまとめるに当たり実に遠くを見つめたく長くお考えになって、次世代のために至誠を尽くされておられます。

これは、二宮尊徳会の小林会長から寄せられたメッセージです。

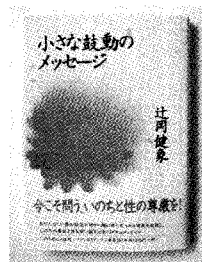
この他にも「日本人の必読の書」「次世代に命の継承を



急がねば取り返しのできない事態になる」など感想をいただいています。

『いとけなき生命に光を』に続くブックレット。少子高齢化による人口減少に警鐘を鳴らし、日本の国家社会のあり方を考えさせます。

(購入希望の方は鎌田までご連絡ください)



フォレストブックス刊
1300円+税

『小さな鼓動のメッセージ』

辻岡健象著

(ちいさないのちを守る会)の代表の実践記録である。胎児の人権を守るために設立された同会は、出産を望まない女性を励まし、親族を

説得し、養子縁組のお世話をしてきた。

望まない妊娠の背景には、性の解放や、人格教育を伴わない性教育など、さまざまな社会的背景がある。

ちいさないのちを守り通すとき、産むことを断念しようとした女性から「産んでよかった」「人生には光があるのですね」ということが聞かれるという。

経済優先の流れのなかにあって、一九九一年世界生命尊重連盟の会議が東京で開かれ、『胎児の人権宣言』が採択されたのは、感慨深い。いのちのドラマと、見えな

天使のほほえみ 事務所移転のお知らせ

NPO法人天使のほほえみは、平成19年7月1日をもって、事務所を下記に移転致しました。

〒151-0071
東京都渋谷区本町 2-27-15-202
鎌田ヒサ子方
電話 / FAX : 03-3374-6178

※なお、NPO 法人天使のほほえみは、株式会社アマリー、株式会社アン・アリス、株式会社アース・グリーン、および同社の梅崎礼子社長とは、一切関係がございません。

ご案内

これは、胎児の生命を人工中絶より守り、大事に生んで育てることを提唱するNPO法人「天使のほほえみ」の会報誌です。あなたもこの趣旨に賛同されましたら、ぜひご入会下さい。

編集後記

田下昌明先生のお話いかがでしたでしょうか？ 私たちは、育児は伝統文化の継承を含んでいることを忘れていました。日本人の暮らし方そのものを身につけたい。(S)

軒端の巢から、ツバメは巣立つて行きました。これほど子育てに懸命な姿には私達も見習いたいものです。赤ちゃんを大事に産んで育てる基本を忘れず、明日の日本を作りましょう。(k)

昨年結婚した姪っ子に赤ちゃんが誕生した。両家族とも初孫ということもあり幸せいっぱいのようなすだ。小さな命と寝顔がこれほど回りを幸せにする力を持つているのかと感動した。(T)